

役員人事及び新体制のお知らせ

一般財団法人森記念財団

2015年6月24日

一般財団法人森記念財団（所在：東京都港区、以下森記念財団）は、本日開催の評議員会及び理事会において、下記の通り新体制を発足させましたので、お知らせいたします。

■新体制人事（役職順、氏名順）

| | | |
|---------|--------|--------------------------------|
| 評議員： | 青山 侑 | 明治大学 公共政策大学院 教授 |
| | 尾島 俊雄 | 早稲田大学 名誉教授 |
| | 黒川 洸 | 一般財団法人 計量計画研究所 代表理事 |
| | 後藤 春彦 | 早稲田大学 理工学術院 教授 [新任] |
| | 藤井 宏昭 | 国際交流基金 顧問 |
| | 森 浩生 | 森ビル株式会社 取締役副社長執行役員 [新任] |
| 理事長： | 小林 重敬 | 横浜国立大学 名誉教授 [新任] |
| 専務理事： | 福富 光彦 | [新任] |
| 業務担当理事： | 市川 宏雄 | 明治大学 専門職大学院長 |
| 理事： | 岸井 隆幸 | 日本大学 理工学部 教授 [新任] |
| | 進士 五十八 | 東京農業大学 名誉教授 |
| | 竹中 平蔵 | 慶應義塾大学 教授 |
| | 辻 慎吾 | 森ビル株式会社 代表取締役社長 [新任] |
| | 村木 美貴 | 千葉大学大学院 工学研究科建築・都市科学専攻 教授 [新任] |
| 監事： | 伊丹 勝 | 株式会社日本設計 最高顧問 |
| | 松河 教夫 | 森ビル株式会社 取締役常務執行役員 |

※ なお、前理事長の伊藤滋は特別顧問に、前理事の磯部力ならびに川嶋辰彦は顧問に、それぞれ本日付で就任いたしました。

本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人森記念財団 担当：園田

TEL：03-6406-6800 e-mail：info@mori-m-foundation.or.jp

■新理事長略歴

小林 重敬（こばやし しげのり）



生年月日： 1942年9月3日

略歴： 1966年 東京大学工学部都市工学科卒業

1971年 東京大学大学院工学研究科博士課程都市工学専攻修了
工学博士（東京大学）

1973年 横浜国立大学工学部建築学科助教授

1985年 横浜国立大学工学部建築学科教授

2000年 横浜国立大学大学院工学研究院教授

2008年 東京都市大学都市生活学部教授、横浜国立大学名誉教授

2015年 東京都市大学退職

現在に至る

公職及び受賞歴等：

日本都市計画学会会長、都市住宅学会副会長、規制改革委員会参与、参議院国土交通委員会客員研究員、国土交通省社会資本整備審議会委員、国土交通省国土審議会特別委員、文化庁文化審議会専門委員、法務省法制審議会民法部会委員、公益社団法人全国市街地再開発協会理事長、NPO 法人大手町丸の内有楽町エリアマネジメント協会理事長などを歴任。2005年横浜文化賞受賞、2007年及び2010年日本都市計画学会石川賞受賞

■小林新理事長の就任挨拶

森記念財団は、設立時より一貫して時代に即した都市づくり・まちづくりに関する調査研究及び普及啓発活動を行ってまいりましたが、現在は、都市づくり・まちづくりの大きな転換期に当たっております。東京をはじめとして日本の諸都市は成長の時代から成熟の時代へと移行し、新たな観点から都市を調査・研究し、新たな都市づくり・まちづくりの仕組みの可能性を検討・提案しなければならない時期にきています。財団職員はもとより積極的に外部からの知恵を導入して、新しいニーズに対応する財団として活動していきたいと考えます。

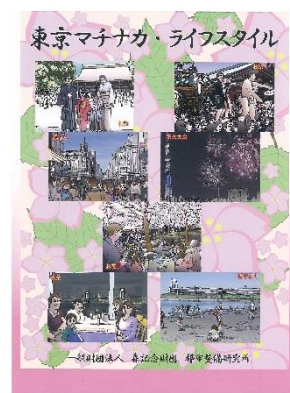
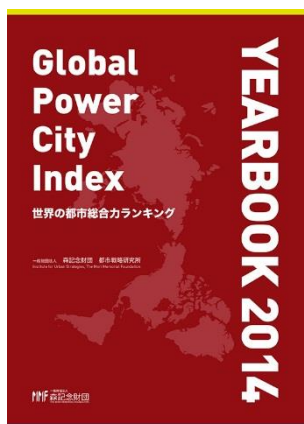
<ご参考>

■一般財団法人森記念財団について <http://www.mori-m-foundation.or.jp>

森記念財団は、よりよい都市形成の為に、時代に即した都市づくり・まちづくりに関する調査研究及び普及啓発を主体とした公益的な事業活動を展開し、もって公共の福祉に寄与することを目的に1981年に発足しました。2008年には内部組織として都市整備研究所と都市戦略研究所を設け、国際化、経済活動、居住環境、文化的魅力等を踏まえた都市づくり・まちづくりに関する調査研究事業等を行っています。

■主な既刊報告書（刊行年月順）

- 1) 『東京マチナカ・ライフスタイル』（2015年3月）
- 2) 『ニューヨークの計画志向型都市づくり 東京再生に向けて（中間のまとめ）』（2015年2月）
- 3) 『世界の都市総合力ランキング YEARBOOK 2014』（2014年12月）
- 4) 『東京を訪れる人達 ～東京40km圏の人の移動と滞留（推計・分析編）～』（2013年10月）
- 5) 『東京のブランド力 ～世界が憧れる5つの魅力～』（2012年7月）
- 6) 『2030年の東京 part2 超高齢社会の暮らしと街づくり編』（2012年7月）
- 7) 『世界の都心総合力インデックス』（2011年5月）
- 8) 『東京未来シナリオ 2035 4つのシナリオと都市戦略提言』（2011年5月）
- 9) 『2030年東京の物流清流化』（2011年5月）
- 10) 『東京の広場を楽しくする ～民有公開空地 POPST108ヶ所の魅力の格付け～』（2011年3月）
- 11) 『自転車に乗りたくなるまち ～自転車先進都市への転換～』（2006年9月）
- 12) 『港区の外国人』（2005年1月）
- 13) 『現代社会に相応しい都市計画・建築計画のあり方（4）』（2004年11月）
- 14) 『臨海空都市宣言 ～地域・機能の連携を目指して～』（2002年4月）



※本リリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。